



笠間市立笠間小学校
 学校だより「時習館」
 第32号
 令和6年3月22日(金)

笠間小学校 第77回卒業式



卒業生入場



卒業証書授与



別れの言葉

3月19日(火)に、令和5年度笠間小学校第77回卒業式が挙行されました。卒業生は、保護者の皆様や来賓の方々、在校生(4・5年生)に見守られ、立派な態度で卒業証書を受け取ることができました。別れの言葉では、小学校6年間の思い出や、周りの方々への感謝の言葉、在校生へのメッセージを、心を込めて伝えることができました。また、笠間小学校で歌う最後の校歌や、式歌「旅立ちの日に」の歌声を体育館いっばいに響き渡らせ、会場にいた全ての方々を感動させていました。

笠間小の職員一同、学び舎を巣立った126名の卒業生の皆さんの、今後の活躍を願っています。卒業生の保護者の皆様には、6年間ご支援、ご協力をいただきましてありがとうございました。



令和5年度 修了式

22日(金)に、令和6年度の修了式が行われました。全校児童が体育館に集まって行う儀式は、久しぶりでしたが、どの学年も落ち着いた態度で式に臨むことができました。

はじめに、1年生の瀧本さんと4年生の山田さんが、1年間を振り返っての作文を発表しました。2人とも堂々とした態度で、はきはきと発表することができ、すばらしかったです。続いて、修了証授与が行われ、各学年の代表者が壇上に上がり、校長先生から修了証を受け取りました。どの学年の代表者も、しっかりとした態度で受け取ることができました。

1年生でがんばったこと、2年生でがんばりたいこと
 わたしが、小学校に入学してがんばったことは、2つあります。

1年 瀧本さん

1つ目は、さんすうです。わたしは、ひきさんがにが手でまちがえてしまうことがありました。でも、しゅくだいや自学ノートでふくしゅうをたくさんがんばったので、ひきさんができるようになってきました。これからも、ふくしゅうをがんばって、とくいなことをふやしていきたいです。

2つ目は、あさの1ぷんかんスピーチです。みんなのまえにでてはっぴょうすると、すこしはずかしくなってしまう、はなしたいことをわすれてしまったこともありました。なんどもやっているうちに、たのしくはっぴょうすることができるようになりました。これからも自しんをもってはっぴょうしたいです。

4月には、2年生になります。2年生になったら、かけざん九九をかんぺきにがんばりたいです。そして、1年生のお手本になれるような2年生になりたいです。



4年生になってできるようになったこと

4年 山田さん

私は、4年生になってからのこの1年間で、できるようになったことがたくさんあります。その中でもできるようになってうれしかったことを3つ発表します。

1つ目は、計算が速くなったことです。3年生までは算数が苦手でした。でも、苦手な教科をなくしたいという思いから、ドリルなどで練習を何回も行いわり算の筆算が少しずつ早くなってきました。今ではわり算の筆算が苦手ではなくなりました。ですが、テストではまん足する点数がとれずくやしい思いをしました。5年生になっても小数の筆算があるので練習をがんばり、テストで100点をとりたいです。

2つ目は、なわとびです。3年生では、目標としていた二重とびが1回もとべませんでした。4年生になって新しくできた友だちの中に、二重とびがとくいな友達がいたので、二重とびのこつを聞きました。友達は、「手くびを回すようにするんだよ。」とやさしく教えてくれました。教えてもらったことをいしきして二重とびをとんでみると1回跳ぶことができました。その次の日の体育の学習はなわとびでした。二重とびの練習を始めるとき、とべるか不安もありましたが、授業中にれんぞくで5回とぶことができました。とべたときは、うれしさより、おどろきのほうが大きかったです。5年生では、二重とびを20回以上とべるようにしたいです。

3つ目は、自分の意見を手を挙げて伝えることです。算数や社会などの教科だけでなく、学級での話し合い活動でも、自分の考えを進んで発表することができるようになりました。発表することが恥ずかしいと思っていましたが、今では、発表することで授業や話し合いが楽しくなると思えるようになりました。それは、人の意見をよく聞き、みとめ合うことができる4年1組のみんなや先生のおかげだと思います。5年生からは委員会活動が始まります。委員会活動でも積極的に意見を発表し、活動していきたいです。

来年もいろいろなことにちょうせんして、できることをふやしたりのばしたりして、高学年として頑張りたいです。

本年度の学校だより「時習館」は、32号をもちまして最終号とさせていただきます。

1年間お読みくださり、ありがとうございました。

4月8日（月）令和6年度始業式の日、1学年進級した児童が元気に登校する姿を楽しみに待っています。

